

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

京都第二赤十字病院では、奈良県立医科大学主導の血栓性血小板減少性紫斑病と診断された方を対象とした研究に協力をしております。内容については下記のとおりです。この研究についてご質問等がございましたら、最後に記載しております問い合わせ窓口までご連絡ください。

◀情報の利用目的及び利用方法▶

●研究の名称

血栓性血小板減少性紫斑病（TTP）に生じる心筋虚血と好中球細胞外トラップ（NETs）の評価

●研究の目的

TTPの急性期死因の一つとして、過去の研究結果から心筋虚血が関与している可能性が報告されていますが、心筋虚血の成因については未だ解明されていません。

NETsは、好中球が細菌などを貪食によって殺菌するのではなく核酸を投網のように投射してとらえて殺菌する現象であり、好中球の新たな免疫反応として発見されました。近年、NETsにより放出された物質は、種々の免疫・炎症・血栓性疾患の病態形成に関与することが報告されていますが、TTPとの関連性は不明です。

今回の研究では、奈良県立医科大学に提出された検体を用いてTTPにおける心筋虚血とNETsの関連性について研究します。

●研究の対象

2005年4月1日から2023年9月30日までに

診断目的で奈良県立医科大学に検体を提出してTTPと診断された患者さんのうち

ADAMTS13活性が10%未満かつADAMTS13自己抗体が陽性の患者さんを対象とします。

●研究の方法

対象となる患者さんの担当医に依頼して、以下の情報を提供いただきます。

- ①患者イニシャル、生年月日、性別、発症日、既往歴
- ②抗血栓療法の有無、胸部所見の有無、心電図所見、心臓超音波所見、トロポニン測定値
- ③心筋ストレスマーカー、転帰

※上記の情報からはお名前、ご住所など、患者さんを特定できる個人情報削除します。

また、提出された血液検体を用いて、以下の項目を測定します。

- ①トロポニンT、トロポニンI、シトルリン化ヒストンH3、DNA/histone complex

●研究の期間

2023年10月31日～2028年3月31日

◀提供を開始する予定日▶

病院長の提供許可日

《研究組織（研究機関名および研究責任者名）》

奈良県立医科大学 輸血部 教授 松本 雅則

《試料・情報の管理について責任を有する機関の名称》

奈良県立医科大学

《情報の二次利用について》

本研究で取り扱う情報について二次利用を行う予定はありません。

《試料・情報の利用の停止（受付方法含む）》

患者さん又はその代理の方が、この研究への参加（情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、以下の《問い合わせ先》にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、解析が完了している、結果が論文などで公表されているなどの理由であなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

《問い合わせ先》

奈良県立医科大学 輸血部 担当者：酒井 和哉

TEL：0744-22-3051 FAX：0744-29-0771

E-Mail：ks13122@naramed-u.ac.jp